

南山短期大学人間関係研究センター事業報告

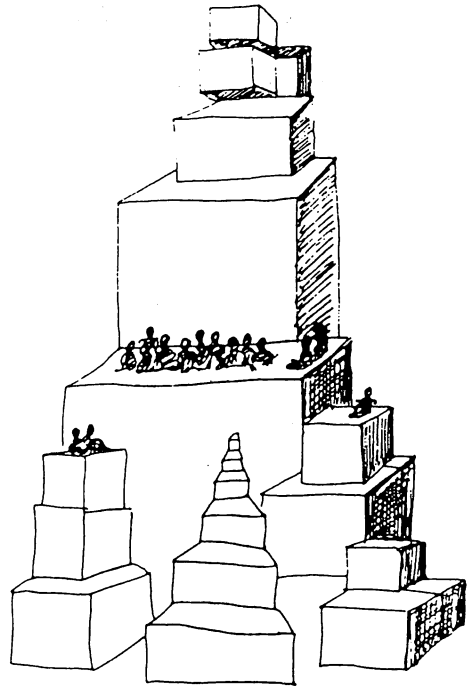
(1998年度)

事業概要	257
社会人研修	258
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	258
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	258
3. 社会人研修参加者統計	260
コンサルテーション	261
1999年度人間関係研究センター事業予定	263
南山短期大学人間関係研究センター規程	274

■ 事業概要

“ねむりこけたままほうられている人間が多すぎる”

—サン・テグジュペリ



センターの重要な活動である社会人のための公開講座は、1977年のセンターの発足時から毎年定期的に関講されている基礎研修講座を中心に、各種の専門研修講座や特定研修講座を開催している。これらの講座は南山短期大学が地域社会に対してユニークな学習の場を提供する機能と同時に、センター研究員に対して教育訓練に関する多様な臨床研究の場を提供する機能を果たしている。

基礎研修講座（一般研修）は、昨年度は春・秋に各1回ずつ開催され、既に52回を重ねた。基本的なプログラムは週1回約3時間の研修を10週間続けて1コースとし、体験学習による自己理解や他者理解、コミュニケーション・プロセス、グループ・プロセスの基本的な学習を目指している。受講者にとっては、利害関係にとらわれることなく、さまざまな人々と接触を持つことも魅力の一つであり、そこから新しい友人関係や仲間意識が生まれ、自主研修グループに育っていく場合も度々ある。

専門研修（継続研修）としては、“自己理解を深める”研修と“グループ・プロセスの理解を深める”研修とが基礎研修に続く研修として開講されている。中部地区では唯一の「Tグループ（人間関係トレーニング）」や、「TA（トランザクショナル・アナリシス）」は回数を重ね、「ユング心理学」や「クリエイティブアート・セミナー」、「ボディーワーク・セミナー」も多くの受講者を迎えている。また、新しく「カウンセリング的対話」「ホリスティック生命論ワーク」「リーダーシップ・トレーニング」が開講されいづれも好評であった。

一方、コンサルテーション活動は地域社会の個人や組織体に対してセンターが提供できる専門機能であり、1984年度「名古屋いのちの電話準備委員会」約100名の電話相談員の「人間関係基礎訓練」以来、「名古屋いのちの電話」は、1985年7月から相談業務に入り、センターは毎年「人間関係基礎訓練」「継続研修」の訓練計画と実施の援助を続けている。また種々主地域団体の研修プログラムをはじめ、1990年度からは名古屋市内の生涯教育センターのプログラム開発に対して講師としてセンター研究員が派遣されている。

■ 社会人研修／人間関係基礎研修講座（一般研修）

第5 1回人間関係講座

開講期間：1998年5月9日～7月18日

土曜日 13：30～16：00

参加者：41名

担当者：星野 欣生

第5 2回人間関係講座

開講期間：1998年9月2日～12月3日

木曜日 18：30～21：00

参加者：32名

担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

ドストエフスキイを読もう

開講期間：1998年4月18～1999年1月23日

土曜日 16：00～18：00

参加者：14名

担当者：大森 正樹

聖書深読入門A・B

開講期間：1998年11月17日・18日（2日間集中）

参加者：13名

担当者：奥村 一郎

■ 社会人研修／人間関係専門研修講座（継続研修）

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）A

開講期間：1998年8月3日・4日・5日（3日間集中）

参加者：18名

担当者：中堀 仁四郎

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）B

開講期間：1998年10月31日・11月1日・2日（3日間集中）

参加者：17名

担当者：中堀 仁四郎

TAによる自己啓発

開講期間：1999年3月20日～22日 2泊3日

場 所：(財)KEEP協会・清泉寮

参加者：5名

担当者：中堀 仁四郎

ユング心理学

開講期間：1998年7月25日・26日・27日（3日間集中）

参加者：31名

担当者：木村 晴子

クリエイティブアート・セミナー

開講期間：1998年7月31日・8月1日・2日（3日間集中）

参加者：6名

担当者：伊東 留美

ボディワーク・セミナー

開講期間：1998年8月7日～9日（2泊3日）

場 所：風の豊与（愛知県小原村）

参加者：20名

担当者：グラバア 俊子

カウンセリング的対話

開講期間：1998年4月30日～7月23日

毎週木曜日 18：30～21：00

参加者：12名

担当者：楠本 和彦・中村 和彦

リーダーシップ・トレーニング

開講期間：1998年11月7日～12月19日

毎週土曜日 13：30～16：00

参加者：22名

担当者：星野 欣生・中村 和彦

ホリスティック生命論ワーク

開講期間：1998年10月2日～11月6日

隔週金曜日 18：30～21：00

参加者：20名

担当者：まどか 庸代・グラバア 俊子

Tグループ（人間関係トレーニング）

開講期間：1998年9月11日～16日 5泊6日

場 所：(財)KEEP協会・清泉寮

参加者：16名

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充・楠本 和彦

トレーナー・トレーニング

開講期間：1999年2月18日～22日 4泊5日

場 所：(財)KEEP協会・清泉寮

参加者： 名

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充

（99年度トレーナートレーニングは都合により中止しました。）

■社会人研修／参加者統計（1998年度）

講座名	場所	担当者	期間	時間	曜日	参加者数	性別		居住地		職業										年齢					
							男	女	市内	市外	公務員	団体職員	会社員	自営業	医療関係	教育関係	教会関係	主婦	学生	その他	無答	20～29才	30～39才	40～49才	50才以上	無答
人間関係基礎研修講座						1,556	304	1,252	928	628	84	72	373	57	156	207	45	319	101	116	26	659	410	342	131	14
前回まで																										
第51回 人間関係講座	南山短大	星野	H10.5/9～7/18	13:30～16:00	土	40	6	34	6	34	1	1	12	1	4	6	0	9	3	2	1	14	10	11	5	0
第52回 人間関係講座	〃	伊藤・佐竹	H10.9/24～12/3	18:30～21:00	木	32	5	27	19	13	2	0	9	2	3	3	0	3	1	2	7	12	5	3	3	9
計						1,628	315	1,313	953	675	87	73	394	60	163	216	45	331	105	120	34	685	425	356	139	23
人間関係専門研修講座						1,709	412	1,297	747	962	96	101	446	75	167	271	18	202	105	175	53	587	485	408	168	61
前回まで																										
97トレーナー・トレーニング	清里 清泉寮	中堀・山口	H10.3/20～24	4泊5日		11	5	6	3	8	2	0	2	1	0	5	0	0	1	0	0	3	4	2	2	0
カウンセリングの対話	南山短大	中村・楠本	H10.4/30～7/23	18:30～21:00	木	12	0	12	5	7	1	2	3	1	1	2	0	2	0	0	0	5	3	4	0	0
教師のための人間関係講座	〃	楠本・津村 山口・グラバア	H10.5/9、6/13 7/11、9/26	1日集中×4	土	55	3	52	15	40	2	1	0	0	1	49	0	2	0	0	0	13	18	19	5	0
ユング心理学	〃	木村	H10.7/25～27	3日間集中		31	5	26	13	18	3	0	9	1	2	6	0	6	1	1	2	7	8	9	7	0
クリエイティブアート・セミナー	〃	伊東	H10.7/31～8/2	3日間集中		6	1	5	1	5	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	3	1	0
ボディーワーク・セミナー	〃	グラバア	H10.8/7～9	2泊3日		20	1	19	7	13	2	1	9	0	1	3	0	1	2	0	1	8	7	4	0	1
TA入門A	〃	中堀	H10.8/3～5	3日間集中		19	1	18	6	13	0	1	3	1	3	3	0	4	0	2	2	3	11	5	0	0
TA入門B	〃	中堀	H10.10/31～11/2	3日間集中		17	5	12	4	13	4	1	5	2	0	2	0	1	0	1	1	6	6	3	2	0
Tグループ	清里 清泉寮	中堀・山口 津村・楠本	H10.9/11～16 12/13	5泊6日		16	6	10	2	14	3	1	2	0	0	2	2	1	3	0	2	6	6	2	2	0
ホリスティック生命論ワーク	南山短大	まどか・グラバア	H10.10/2～11/20	18:30～21:00	金	20	6	14	12	8	1	0	2	4	6	1	0	3	1	1	1	3	2	7	2	6
リーダーシップ・トレーニング	〃	星野・中村	H10.11/7～12/19	13:30～16:00	土	22	7	15	2	20	4	0	7	1	2	4	0	1	1	1	1	2	4	11	4	1
TAによる自己啓発	清里 清泉寮	中堀	H11.3/20～22	2泊3日		5	3	2	0	5	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2
トレーナー・トレーニング	〃	中堀・山口 津村	H11.2/18～22	4泊5日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ドストエフスキを読もう	南山短大	大森	H10.4/18～ H11.1/23	16:00～18:00	土	14	5	9	8	6	0	0	1	1	0	2	0	5	0	3	0	0	1	4	9	0
聖書深読入門	マリア館	奥村	H10.11.18～19	2日間集中		13	3	10	4	9	0	1	3	0	0	1	0	6	0	1	1	0	1	5	6	1
計						1,970	463	1,507	829	1,141	122	109	495	87	184	353	21	234	114	186	65	644	559	486	209	72
総計						3,598	778	2,820	1,782	1,816	209	182	889	147	347	569	66	565	219	306	99	1,329	984	842	348	95

■ コンサルテーション

○「名古屋いのちの電話」電話相談員養成講座の計画と実施

「いのちの電話」は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、さまざまな悩みや心の危機に直面しながら身近に相談できる相手がなく孤独の中にいる人たちの、良き相談相手になっていこうとする市民の奉仕活動である。1953年ロンドンで始められ、現在では世界40ヶ国、数百万都市に設立されている。日本では、1971年に「東京いのちの電話」が開設され、今日まで東京、横浜、京都、大阪など30余りの都市に設立され、「日本いのちの電話連盟」を組織して各地でそれぞれ独自の活動をしている。

「名古屋いのちの電話」は全国で23番目の「いのちの電話」として1985年7月に開局し、現在160名余りのボランティアが年中無休の電話による心理的危機に対する援助活動に参加している。人間関係研究センターは、名古屋いのちの電話訓練委員会からの要請で、相談員養成講座の第一課程である人間関係基礎訓練のプログラムの立案と実施のコンサルテーションを行っている。継続研修、スーパービジョン、訓練委員としても関わっている。1986年7月には「名古屋いのちの電話」より感謝状の贈呈を受けた。

基礎研修は「自己理解を深める」をねらいとして、一泊研修と、1回3時間のセッションを毎週1回、計8回の体験学習プログラムを立案、実施している。1985から1997年度には第2期生から第10期生の基礎研修を実施。また1998年度10月から1月には第11期生の基礎研修を行った。

ねらい：「自己理解を深める」

- ・自分の価値観（考え方や行動の特徴）に気づく。
- ・自分のありのままを表現する。
- ・相手のありのままを聴く。
- ・対人関係（自分との、他人との）の中にある自分のあり方に気づく。
- ・今、ここでの関係の中におこっていることに気づく。

この研修は、電話相談員養成の目的で行われたものであるが、決して相談員となるための技能訓練ではない。社会の中で、人とかかわりの中で、共に生きようとするときに、誰でも求められることからの訓練としてプログラムされたものである。生涯学習のための一つのプログラムでもある。

1989～1998年度 コンサルテーション及び依頼事業

(順不同)

講 座 名	主 催
<p>電話相談コンサルテーション 人間関係及びグループリーダー研修等 ヘルスカウンセリング指導者養成講座 教師と生徒のコミュニケーションの中でどこまで訊けるか 人と人のコミュニケーションについて 青少年担当者・指導者養成事業 教師と生徒の人間関係 患者理解を深めるために 女性が学ぶこと、ライフサイエンス カウンセリング講座 学校栄養職員研修会「リーダーシップの機能」 老人福祉関係職員等研修事業 企業経営＝職場でのコミュニケーション 私学協会教育相談研究所 サークル活動をデザイン 研修・研究の調査 女性講座 気づき重視トレーニングの科学的根拠をさぐる 女性管理者養成講座 生徒指導のあり方 なごやかスタッフ養成講座 カウンセリングセミナー グループワークトレーニングの基礎知識 社内研修会「なぜ今“気づき”なのか」 名古屋市市民大学「グループリーダーセミナー」 自主グループの研修会 ライフサイエンスをめざすもの 自分を知るプログラムの体験学習 ヒューマン・リレーション・ラブ 女性のための自己開発講座 青年リーダー養成講座 人間関係を豊かにするには 人間関係トレーニング 中堅看護婦研修会 なごや女性カレッジ おとしより・同僚と人間関係・チームワーク 両親のためのコミュニケーション講座 ボランティア・リフレッシュ講座 ボランティアスクール 自己知と自己表現トレーニング 価値観を問直すー人間観のビジョンー 21世紀のみちーヒューマンービジョンー 私立学校初任者研修中京地区研修会 看護実習指導者研修会 電話相談員養成基礎研修 教育カウンセリング研修会 手話通訳者研修 児童福祉施設職員研修会</p>	<p>名古屋いのちの電話 名古屋市各区生涯学習センター 愛知県教育委員会 愛知県私学協会研究部 東海市教育委員会 愛知県総務部 中部地区カトリック中・高等学校教職員教育研修会 浜松市立看護専門学校 名古屋市教育委員会 愛知看護協会 名古屋市教育委員会 名古屋市民生局 名古屋商工会議所 愛知県私学協会 名古屋市瑞穂青年の家 奈良県教育センター 春日井市いぶき会 名古屋市青年会議所 日本経営管理協会中部支部 平和町立平和小学校 社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 社会福祉法人あさみどりの会 東海市教育委員会 マーケティング・マネジメント・センター 名古屋市生涯学習推進センター 婦人学習相談員グループ 名古屋青年税理士連盟 国立婦人教育会館 聖マーガレット生涯教育研究所 滋賀県立婦人センター 小牧市教育委員会 名古屋市母子施設連盟 厚生連中央看護専門学校 藤枝市立志太総合病院 名古屋市教育委員会 名古屋市民生局 あらたまメンタルクリニック 岩倉市社会福祉協議会 社会福祉法人あさみどりの会 名古屋市女性会館 名古屋青年会議所 名古屋市土木局道づくり懇話会 (財)日本私学教育研究所 静岡県看護協会 名古屋いのちの電話 刈谷市 昭和生涯学習センター 名古屋市民生局</p>

■ 社会人研修／人間関係研究センター1999年度事業予定

南山短期大学人間関係研究センター
The Center for the Study of Human Relations
of Nanzan Junior College

個性ある生き方と人間性豊かな社会をつくり出すために

私たちは一人ひとり豊かな人間性と独自の個性を持ったかけがえのない存在です。ところが現代社会の中で私たちは役割の中に埋没し、互いに心を閉ざし、かかわり合うことをおそれ、人間をあたかも物の如くに扱い、自分も取るに足らぬ物としか感じられなくなっていないでしょうか。

人間関係の教育は、対話を通して自分の価値観や人生観をみがき、他者への思いやりと感受性を豊かに養い、一人ひとりが生かされるグループや共同体を形成し、人間疎外の社会を愛と信頼関係のあふれる人間尊重の社会へと変革することと、それらの担い手を育てることに取り組みます。

いまこそ本当に人間関係の教育が必要とされているのです。

人間関係研究センターでは今年度、下記のように研修・講座を予定し、多くの一人ひとりとともに学んでいきたいと願っています。

基礎研修

人間関係講座

「学ぶ」ということの意味が大きく広がる、楽しみながら参加できる基礎的・入門的な講座です。

この講座のねらいは、生活の中の様々な場面で活かすことのできる「体験学習」という学び方を知ることと、自分自身の対話やコミュニケーション、関わりのある方を、参加者自身の体験を通して理解することです。

周到に準備されたいくつかの実習を個人や小グループで行うことを中心に、その体験をお互いに話し合ったりしながら、なごやかな雰囲気が進められます。

企業等に勤務する方、教育・医療の関係者、ボランティア活動家、主婦、学生など、自分自身のことや人間関係、そして広く社会の諸問題に関心をおもちの方が手始めに参加でき、また修了後は、それぞれの立場での応用も可能な体験学習の機会です。

2時間半の研修を毎週1回、10週で1コースになるように計画されています。

第53回人間関係講座（春期 土曜日 13:30～16:00）

1999年 5月1日／8日／15日／29日
6月12日／19日／26日
7月3日／10日／17日

担当者 星野 欣生

第54回人間関係講座（秋期 木曜日 18:30～21:00）

1999年 9月30日
10月7日／14日／21日／28日
11月4日／18日／25日
12月2日／9日

担当者 中村 和彦
佐竹 一予

定員 各回とも30名
会場 南山短期大学
研修費 各回とも21,000円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

専門研修

Tグループ（人間関係トレーニング）

日本の各地から集まったさまざまな人々と ハケ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然はあなたが、人と人との関わりを探究するのを豊かにささえてくれるでしょう。本当の自分自身でいられることの深い充足感 人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿 対話の中で人の心に触れた瞬間の感動 深いところで自己と対面した驚き
ズッシリとした学びの手応え

Tグループでは

日常生活では到底得られない上質のかかわりの中で参加者自身が作り出すプロセスを通して学びます。

自分であること、他者と共にあること 真実であること、関係に生きること
受容すること、対決すること など

医療関係者、教育関係者、各種の援助専門家はもちろんボランティア活動家、じっくり自分を見つめたい方など人間関係の中での成長を志す方々のための主体的な学習

担当者 楠本 和彦・中堀 仁四郎・中村 和彦・中野 清・津村 俊充・山口 真人
日程 1999年 8月14日(土)～19日(木) 5泊6日
フォローアップ 1999年12月12日(日)（南山短期大学にて）
定員 30名
会場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参加費 研修費 73,500円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）
滞在費は実費（55,000円程度）を別途徴収させていただきます。
南山大学、南山短期大学コミュニティーカレッジとの共催事業として行います。

トレーナー・トレーニング

このセミナーでは、教師・看護師・カウンセラー・グループワーカー・グループセラピストなど、援助者に必要とされる基本的な倫理と態度と技能を、体験的に学びます。

Tグループを想定した状況の中で、参加者が交代でトレーナー役を体験してグループスーパービジョンを受けたり、観察者としてプロセスフィードバックを試みたりしながら、グループ理解や人間理解を深め、介入の能力を磨きます。

プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディーなども交えながら、許容的な雰囲気の中で学習を進めていきます。

期待される成果は

- ・カウンセリングなどの基本になる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた姿で点検できます。
 - ・体験過程を促進する効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。
 - ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを修得できます。
 - ・グループメンバーを尊重しながらグループを促進するように介入するスキルを修得できます。
 - ・自分自身の介入の問題点や可能性を探ることができます。
- *参加者の関心に応じて、ラボラトリーのデザインの問題や具体的なプログラミングの問題なども取り上げることができます。

担当者 津村 俊充・中堀 仁四郎・山口 真人
日程 2000年 2月23日(水)～27日(日) 4泊5日
定員 18名
参加資格 Tグループ、エカウンターグループなどの構造化されていないグループ体験のある方、または、それらに準じた体験学習を経験しておられる方で、トレーニングスキルの修得を目的にしている方。（不明な場合はお問い合わせ下さい）
会場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111
参加費 研修費 79,800円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）
滞在費は実費（45,000円程度）を別途徴収させていただきます。

アドバンス体験学習

私たちは、日々のさまざまな体験から、沢山のことを学んでいます。

<体験から学ぶこと>、それはごく当たり前のことのようにですが、そのことをもっと意識してみてもどうでしょうか。「体験学習」は、人間や人間関係に関係のあるテーマを学ぶのには大変有効なものです。自分に光をあててみることもできるし、対人関係のこと、グループや組織のことを学ぶこともできます。

「体験学習」のおもしろいところは、あるテーマ(例えば、コミュニケーション)についてその理解

を深めながら、同時にそのテーマに関して自分のありよう(例えば、コミュニケーションの仕方)に気づき、必要を感じれば変えていくことができるからです。それは、自分のありように光をあて成長しながら、同時に理論も習得していくユニークな学習方法です。約50年前にアメリカでスタートしたのですが、わが国でも、企業や病院での研修をはじめ、学校教育や生涯学習の場などで幅広く実践されています。それは、学ぶ人ひとりひとりを大切にする教育方法です。チェンジすること(個人から社会の変革まで)をめざしているものです。

このセミナーでは、

- ・「体験学習」を自ら体験すること
- ・「体験学習」のプログラムを自分たちで計画し、ファシリテーターとして実践してみること

この二つのこと、つまり、体験学習を受講することと、実施することを、参加者が交代しながらプログラムを展開していきます。

それらの体験を通して、

- ・ 体験学習とは何かー体験学習の理論と実際
- ・ なぜ体験学習なのかー教育の原点を問う
- ・ 革新する教育方法としての体験学習
- ・ 体験学習のすすめ方ープログラムをつくり、実施するスキルを養う
- ・ 体験学習をすすめるファシリテーターのあり方ー教育者の原点を問う
- ・ 体験学習の生かし方ー学校、企業、病院、生涯学習と体験学習などをまなびます。

同時にこれらの学習活動を通して、参加者相互のかかわりを深めていきます。

担当者 星野 欣生

日 程 土曜日 12回 午後1:30~5:00

1999年9月25日

10月2日/9日/30日

11月6日/20日/27日

12月4日/11日

2000年1月8日/15日/22日

定 員 18名

参加資格 何らかの体験学習を経験したことのある方(不明の場合はお問い合わせ下さい)

会 場 南山短期大学

研 修 費 50,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

T A入門〔トランザクショナル・アナリシス〕〈A・B〉

T A (Transactional Analysis) はエリック・バーン博士(1910-1970)により開発され、彼の仲間達とともに発展させられた心理療法の体系です。

T Aは、「私たち誰もが基本的には“I'm OK, You're OK”の存在である」という考えに基づいています。“今、ここ”に気づき、自分のあり方を選びながら、自分がOKであることを確かめ、また相手とも肯定的な関係を作り出すための道具でもあります。

入門講座では、T Aの基本的な考え方を理解し、体験学習の方法を用いて自己理解を深め、自己成長への手がかりをつかむことをねらいにしています。

担当者 中堀 仁四郎
日 程 A 1999年8月2日(月)・3日(火)・4日(水) 3日間集中(通い)
B 1999年10月9日(土)・10日(日)・11日(月(祝)) “
定 員 各24名
会 場 南山短期大学
研 修 費 30,450円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

TAによる自己啓発

TAは心理療法として発達しましたが、自分自身との関係や他者との関係の改善、楽しい職場や家庭づくりなどに大いに生かすことができます。

この講座では、TAを中心にして、ゲシュタルトセラピーやサイコシンセシスなどの考え方をとりいれ、自分自身や他者との関わりに焦点をあてて進めていきます。ゆったりとした環境の中で、グループで助け合いながら自分をふりかえったり、自分の可能性を探ったりして、エネルギーを充たす時としたいと思っています。TA理論を学ぶよりも、自分自身に光を当て、自分の可能性を見つける機会となると思います。

担当者 中堀 仁四郎
日 程 2000年3月18日(土)～20日(月) 2泊3日
定 員 16名
会 場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111
研 修 費 38,850円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
滞在費は実費(28,000円程度)を別途徴収させていただきます。

教師のための『体験学習』講座

「体験学習」とは、1946年にアメリカで開発された学習者自身の体験をもとに自らが気づき、考える力を養うことを大切にしている総合的な学習方法です。個人やお互いの関係を尊重する民主的な風土づくりや人間尊重の教育を目指しています。そこでは学習内容とともに、学習者-教師、学習者同士、チームティーチングでの教師同士の関係や一人一人のあり方にも目を向けます。そこで起こっていること(プロセス)を理解し、関わる中で、学習の場にいるすべての人々全体が主体的、創造的に生きることを促進していきます。

南山短期大学人間関係科では、創立以来、教育の新しい冒険として、「総合的な学習の時間」にもうたわれているような、学習者の主体的、創造的な関心を大切にした体験学習を展開してきました。25年間蓄積された世界でもユニークな教育実践のスキルを教育現場にいる皆さんとわかちあいたいと思います。

この講座では、参加者が体験学習を実際に体験する中から、体験学習を実施する際に必要なスキルや態度に気づき、学ぶことを目指しています。なお、この講座は各回の内容を変え、一回でも参加していただける形になっています。

担当者 グラバア 俊子・楠本 和彦・山口 真人・津村 俊充

形態 定例会と一泊の集中セミナー
 日程 [定例会] 第3土曜日 10:00～16:00
 1999年①5月29日/②6月26日/③7月24日
 [一泊の集中セミナー]
 1999年④8月23日(月)～24日(火)
 定員 ①～③は30名 ④は24名
 対象 現在教職についている方。子どもや青年に対して、教育的活動を行っている方
 会場 南山短期大学、小原村 風の豊与(1泊2日合宿のみ)
 研修費 ①～③は8,400円 ④は16,000円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
 宿泊費・宿泊時の食費は別途徴収させていただきます(5,000円程度の予定です)
 ※南山大学、南山短期大学コミュニティーカレッジとの共催事業として行います。

アートセラピー・セミナー

アートセラピーは、アートという芸術的表現を用いた心理治療です。アートセラピーは、大きくわけて「治療のためのアート」と「治療としてのアート」の動きをもっています。

今回のセミナーでは「治療としてのアート」の側面に焦点をおき、実際に自らが創作活動をしてみることから「癒しとしてのアート」の理解を深めていきたいと思っています。

アートセラピーのベースには「誰もが創造性を持っている」という考えがあります。みなさんの持っている創造性をこのセミナーの中で自由に解放してみませんか？自らの中から出てくるイメージを自由に外へと表現し、それを再び受け取ることで、みなさんの自己理解が深まることをねらいとしています。

担当者 伊東 留美
 日程 1999年7月30日(金)・31日(土)・8月1日(日) 3日間集中(通い)
 定員 20名
 会場 南山短期大学
 研修費 29,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

カウンセリング的対話

この講座では、コミュニケーションやカウンセリングの実習を行い、そこでの体験を通じて自分自身の聴き方について気づきながら、日常の対話の中で相手の話を共感的に聴く能力(感受性)を高めることを目的としています。

講座の中では、コミュニケーションの実習を通して、自分の体験から自分自身の聴き方の特徴やあり方を見つめていきます(したがって、カウンセリングについての講義は最小限になります)。子どもの声をうまくキャッチできないと感じている方や、友達や同僚の悩みをもっとうまく聴きたいと感じている方など、日常の中でのカウンセリング・マインドを身につけたいと思っている方にお勧めです(カウンセリングの専門家を育てるコースではありません;あくまでも日常の中でのカウンセリング的関わりができることをねらいにして講座を進めていきます)。

※実習「ミニ試行カウンセリングI」では対話をテープに録音し、逐語録を時間外で作成していただきます。逐語録の作成には時間と労力がかかります。また、「ミニ試行カウンセリング」のグルー

プによる検討の際には、自分の内面的な事柄が取り扱われることもあります。受講される場合にはご了承ください。

〈具体的な講座の内容〉

- 第一回 ねらいの共有化
- 第二回 実習「How do you feel the counselor?」
- 第三回 カウンセリングと対話についての講義
- 第四回 実習「たずね、こたえ、観察する」
- 第五回 実習「ミニ試行カウンセリングⅠ」の実施
- 第六回～第十回 「ミニ試行カウンセリング」のグループによる検討
- 第十一回 実習「ミニ試行カウンセリングⅡ」
- 第十二回 実習「私のカウンセリング理論作り」

担当者 中村 和彦・楠本 和彦
日 程 木曜日 午後6：30～9：00
1999年5月6日／13日／20日／27日
6月10日／17日／24日
7月1日／8日／15日／22日／29日
定 員 12名
会 場 南山短期大学
研 修 費 45,150円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

ノート法入門（親子のよりよいコミュニケーションをめざした）

自分のコミュニケーションのあり方に目を向け、よりよいコミュニケーションを生むための第一歩を踏み出してみませんか。

元々「ノート法」は、「母親ノート法」として東山紘久氏により不登校の子どもとその母親とのコミュニケーションの改善をはかり、お互いのやりとりや関わりがセラピューティック（治療的）になるように考案されたものです。

本講座は自分と他者とのコミュニケーションをよりよくしたいと思っている方ならば、どなたでも参加していただけます。ノート法を用いて、母と子どもに限らず、家族など周りの人々とのコミュニケーションの改善をめざす入門編です。コミュニケーションを改善したい相手と自分との会話をノートに記し、その会話がよりお互いの思いや気持ちを伝え合うものになるよう、スタッフと参加者として考えていきます。自分の会話の点検だけでなく、他の参加者の点検の中からも学ぶことができるでしょう。

今回は入門編ですので、本講座終了後、より深く学びたいという方にはニーズに応じた研修の場やプログラムを紹介することもできると思います。

講座内容(予定)

- 第一回 ねらいの共有化、ノート法の考え方と方法の説明
- 第二回～四回 小グループでのノート点検
- 第五回 まとめ

担当者 楠本 和彦・澤田 孝子
日 程 土曜日 午後2：00～5：00

1999年10月30日

11月20日/27日

12月4日/11日

定員 24名

会場 南山短期大学

研修費 27,000円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

※南山大学、南山短期大学コミュニティーカレッジとの共催事業として行います。

エコサイコロジー

春の野の花。秋の訪れを告げるように群れ飛ぶ赤とんぼ。季節とともにわたり来る鳥たち。夜空を飾る星々の輝き。コンクリートの隙間から生え出す草たち。電線に鈴なりになって鳴く雀たち。

あなたはどんなところで、どんな風に自然と出会っていますか？

この講座では、人と自然の関心に焦点を当てるエコサイコロジーを通して、

- ・ 自然、宇宙とのつながりの中における自己
- ・ 我々が自然の中で受ける癒し、
- ・ 環境問題が我々に与える心理的影響

といった諸点を見つめていきます。

自然とのつながりをもっと深めてみたい方、自分のあり方を自然とのつながりの中で見つめてみたい方、自己成長、自己理解、心理療法に興味のある方で、現代人のあり方を広い枠の中で捉えてみたい方、環境問題、自然教育にとりまわされている方で、人と自然との関係の心理的な側面に興味のある方にお勧めします。

担当者 川浦 佐知子

日程 1999年7月23日(金)・7月24日(土)・7月25日(日) 3日間集中(通い)

定員 20名

会場 南山短期大学

研修費 29,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

ボランティア・セミナー(グローバル・ヒューマン・ネットワーク)

人間が社会で生きていくには、たくさんの共同作業が必要です。特に昨今は地球レベルの共生のために、少しでも非営利の活動が求められています。私が、あなたが本当の「生きる」を実践するために。

このような方をお待ちしています。

- ・ 地球づくり、国際協力機関、NPOなどで働きたいと考えている方
- ・ 共同で物事を解決していきたいと思っている方

セミナー内容

2日間で、課題達成の実習(シュミレーション)を行います。異文化コミュニティーを対象として、共同(グループ)で「一仕事」を行います。

- ・ 社会を構成する人を分析することで、社会を読む。

- ・ コミュニティ共通の課題を見つけ、分析する。
- ・ どういう共同社会を作りたいか分析する。
- ・ 目指したい社会をつくるためにどのようなアプローチが必要か分析する。

いつの間にか知らなかった世界で「一仕事」している自分を見つけだすでしょう。
共同で課題を達成する技術の訓練です。

担当者 平山 恵
日 程 1999年5月15日(土)・5月16日(日) 2日間集中(通い)
定 員 20名
会 場 南山短期大学
研 修 費 22,000円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

私の生き方を哲学する(個人・人格・人間)

- 1) みずから「哲学する」。
- 2) 日本人の生き方、自分の生き方の特徴的な考えを知る。
- 3) これからの生き方を支える大切な「ことば」に出会う。

この講座は哲学者たちの思想を学ぶものではありません。ここでは受講者みずから「哲学する」ためのテーマと方法を学びます。今回は、人格や個人の尊重がさげられながら、実際には集団の力学が優先しがちな日本社会の状況を生きる私たち自身の課題はなにかを、身の回りのできごとをテーマにとりあげながら、哲学してみます。若干の講義と、それをうけてのディスカッションを中心にを行います。また、ことばと思想が凝縮されたものである「詩」の朗読や詩作にも挑戦したいと思います。

哲学することPhilosophein
それは≪愛知の途≫の歩み、道標(みちしるべ)

「たった一つのことばが 私が生きるただひとつの世界になった
その一つのことばをさがして 私はたびにでた……」(Kiyoshi)

担当者 中野 清
日 程 土曜日 午後1:30~3:00
1999年5月1日/8日/15日/22日/29日
6月12日/19日/26日
7月3日/10日
定 員 20名
会 場 南山短期大学
研 修 費 28,840円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

ホリスティック生命論ワーク

人が人らしく生死を過ごすために、医療・医学や人の生命にまつわる科学技術・教育・社会・家庭の場では、どのような人間観や医療観が現代人の助けになるのでしょうか。

この講座では、いのちの(関わり医療)のテーマをワーク(実習)を中心に体験学習の手法と発想法によってすすめていきたいと思っています。

ホリスティックholisticとは、一つのものゝ観方生き方で、「全人的」とか「全包括的」とか「ここもからだもたましいも」まるごと生きた一つの全体系として、いのちや人や社会のかかわりを捉えていこうとする文明論的ことばです。ギリシャ語源holos（全体）は、whole（全）/heal（癒）/holy（聖）/health（健全）=heal+th（癒えた）+（状態）という意味をももたらしています。

- ・「いのちのイメージと生命観」（自己化風土化awarenessワーク）
- ・「バイオエシックス生命倫理と社会的コンセンサス」（パラダイムワーク）
- ・「医者患者家族関係コミュニケーションといわれる振舞い」（五感ワーク）
- ・「日本・日本人・日本語とわたしのからだ」（いろはワーク）
- ・「死のイメージ 生産看死と生老病死」（aura=somaワーク）
- ・「ライフサイエンスとライフファンタジー」（七観ワーク）

特別ゲスト講演

アルフォンス・デーケン教授 「心の癒しとユーモア」

1999年10月15日(金) 18:30～

南山短期大学 1番教室 300名一般公開

担当者 まどか 庸代・アルフォンス デーケン
日程 金曜日 午後6:30～9:00
1999年10月1日/8日/15日(公開)/29日
11月19日
12月3日

定員 20名
会場 南山短期大学
研修費 22,000円（消費税ならびに申込金2,000円公開講演を含む）
公開講演のみの方は実費2000円（当日ご持参下さい。）
後援 日本ホリスティック医学協会
※南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

ドストエフスキイを読もう

世界文学の中でも独特の位置を占めるドストエフスキイの作品は一度は読んでみたいものの一つですが、これに一人で挑戦するのはなかなか困難なことです。大抵登場人物の名前が途中でわからなくなったり、肝心の筋がどうなっているのかに戸惑うことがあることと思います。しかし、グループで読んでみると、自分とは違う読み方があるのに気づいたり、他の人もやはり自分と同じような疑問をもっていることがわかったり、自分とは違う物の考え方を教えられたりします。こうしたグループでの読書の長所を生かしながら、時に講義を交えて、ドストエフスキイを読み解いていきたいと思います。じかに、自分の眼でドストエフスキイの作品に触れ、格闘することによって、そこに描き出されている人間の心理、性格、思想をもとにして、人と人との関係や宗教、人生をいかに生くべきかの諸問題を語りあいたいと思います。ドストエフスキイが好きな人、一度挑戦してみたい人、どうも好きになれない人、ちょっと知ってみたい人はどうぞお集まり下さい。

今年はドストエフスキイの『未成年』を読みます

担当者 大森 正樹
日 程 土曜日 午後4:00～6:00
1999年4月17日
5月8日/22日
6月12日/26日
7月10日
9月25日
10月16日
11月6日/20日
12月4日
2000年1月8日/22日
定 員 若干名
会 場 南山短期大学
研 修 費 1,050円(消費税含む)(その他資料代・茶菓代実費)
テキストは各自で用意してください。どの出版社のものでもかまいません。

聖書深読入門

聖書深読法というのは、一口に言って、「聖書の文字から聖書の心に」入っていく読み方です。それも、二つの形があります。個人でする方法の個人深読と、複数でする合同深読です。今回の場合は、後者の合同深読です。つまり、聖書の分かち合いです。

「私の名によって、二三人集まる処には、私はいる。」(マタイ18、20)と言われたイエスの現存から溢れる聖霊の光を信じて、それぞれに与えられた思いをそのまま単純率直に分かち合うことです。学問的な聖書研究ではありません。間際の予習は要りません。食べ慣れた好物でも、空腹にしておかなければ、美味しくいただけないからです。自製の弁当をもって、レストランに入るような人はないのと同じです。みんなで分かち合うことでは、中国料理に似ています。日本料理なら、すき焼き。適当に、醤油や砂糖などで味付けするのは、深読法では、「解説」といいます。食べるのは、「素読」または、「味読」といいます。今年も、人生にとって大切な聖霊の言葉を皆様と分かち合える恵みをたのしみにしています。

(参考資料：奥村一郎著「聖書深読法の生いたち—理念と実際—」オリエンズ宗教研究所刊)

担当者 奥村 一郎
日 程 1999年 A:6月14日(月) B:6月15日(火)
1日で1コースです。A・Bは単独でも両方でもお申込可能です。(取り扱う箇所は異なります)お申込みの際は、A・Bを明記してください。
定 員 20名
会 場 南山短期大学
研 修 費 1,050円(消費税含む)(その他資料代・茶菓代実費)

【問い合わせ先】南山短期大学人間関係研究センター

TEL 052-832-6214
FAX 052-832-6210

南山短期大学人間関係研究センター規程

第1条 本学に南山短期大学人間関係研究センター（The Center for the Study of Human Relations of Nanzan Junior College）（以下「センター」という。）をおく。

第2条 センターは、キリスト教の人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するために、次の各号の事を行う。

- 1 人間・人間関係に関する研究と教育の推進
- 2 センターと目的を共通にする学外研究機関との協力
- 3 地域社会における開かれた大学としての諸機能を果たすために研究会・研修会等の開催および個別的相談・指導・援助等
- 4 研究成果の刊行および文献・資料の収集と一般への公開
- 5 その他センターの目的達成のために必要と認める事業

第4条 センターに研究員を置き、そのうち1名をセンター長とする。

② 研究員およびセンター長は学長が委嘱する。

第5条 センター長は、センターの事業を掌理し、センターを代表する。

第6条 センターは、必要に応じて顧問、相談員および講師をおくことができる。

第7条 センターは、その目的にそって研修しようとするものを研修生として受け入れ指導・援助を行う。

② 研修生についての規程は、別に定める。

第8条 センターに事務職員をおく。

② 事務職員は、センター長の指示をうけてセンターの事務を担当する。

付 則

本規程は、昭和52年9月30日より実施する。

南山短期大学人間関係研究センター研究員

（1998年4月～1999年3月）

センター長	グラバア俊子				
研究員	樋田大二郎	星野 欣生	市瀬 英昭	伊藤 雅子	伊東 留美
	木村 晴子	楠本 和彦	まどか庸代	文珠紀久野	中堀仁四郎
	中村 和彦	中野 清	大森 正樹	R.A.メリット	佐竹 一予
	鈴木 貞雄	竹内 敏晴	津村 俊充	山口 真人	（ABC順）
事務局	小木曾洋子	大竹 由夏			

編 集 後 記

この第16号も人間関係科で実践している授業、教育（トレーニングを含む）に関する論文を集めることになった。毎回の授業やその他の仕事に追われるのが現状の教員にとって、すでに行った授業を意識的に振り返ったり、その意義を考察する機会がないと、行った授業そのものは、どこかに雲散霧消してしまいう危険性がある。それは次回の授業にとっても、反省がなされていない点で、無自覚的な授業を行い、もしあったとすれば、その時と同じ問題を引き起こしかねないし、また教員にとって、授業そのものが一つの財産であるとする、大切なものを散逸させてしまうことにもなる。そこでこれまで行った主要な授業に関して様々な角度から、そしてこうした授業の背景にある根本的な視点をも併せて、考察することにした。

それに加え、短期大学における学生相談やカウンセリングの問題点をも取り上げた。これは女子短期大学において、教師を兼任するカウンセラーが直面する様々な問題点と、女性であることの問題をめぐるものである。

また特別研究会は今回、二編。東海心理学会での対談と学内での研究発表である。

以上がここに収録されたものである。

ここに収められた諸論文が単なる論文に終わらず、常に教育改革の先導になることを願いつつ、この巻を終えることにしたい。

(大森正樹記)

目次

特別講演 コンテンション・シー理論について—現状と課題— 野中郁次郎 2
特集 「Tグループ」
JICEラボラトリートレーニングの変遷(その1) 中庭仁四郎 11
高等教育におけるTグループの実践 見野秋生・山口真人 36
人間関係科Tグループ実践をめぐって 岸 謙 57
Tグループによる学習過程理解のための方法的研究II—
学生形成過程表現による雰囲気理解への多次元的アプローチ— 岸村 俊光 90
Tグループに於ける女性
—規範と性役割に由来する問題点— KANTER 倉澤俊 99
専属報告 (1977年～1983年)
I 研究会
1. 「コンテンツション・シー理論について」 野中郁次郎(一橋大学) 108
—現状と課題—
2. 「大学教育におけるTグループ適用の試み」 見野 秋生(南山短大)
—教育の革新を求めて— 山口 真人(南山短大) 109
3. 「これからのカウンセリングのあり方」 小林 純 (上智大学) 111
4. 「わたしの夢でできた道」 菊山 徳樹(上智大学) 113
5. 「ヒューマニスティック・エデュケーション
の動向と自己成長への体系的アプローチ」 グラビア俊子(南山短大) 116
6. 「フーバーと教育」我と汝を中心にして— 真行寺 功(金沢大学) 118
7. 「With-nessということ」 見野 秋生(南山短大) 120
—教師・学生関係について—
8. 「関係の神学」 興村 聖(ほくろ女子短大) 122
9. 「教育を考えたとき」 伊東 博(横浜国立大学) 126
10. 「からだ、ことば」 竹内敏晴(名城教育大学) 128
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 132
2. 人間関係専門研修講座 134
3. 人間関係特定研修講座 137
4. 社会人研修参加者統計 140
5. 1984年度社会人研修予定 141
III 南山短期大学人間関係研究センター規程 142
IV 南山短期大学人間関係研究センター研究員 143

目次

特別研究会 人間関係の教育 河合 肇雄 2
特集 「人間教育における体験学習」
I 高等教育における体験学習
1. 南山短期大学人間関係科の教育の概観 見野 秋生 39
—10年の歴史と展望—
2. 人間関係科における教育の試み—
—見直された体験学習— R.A.メリット 47
3. 「人間関係科」による「体験学習」—
—トレーニングから学習へ— 柳原 光 64
II 南山短期大学人間関係科の10年
1. 教育の真義
1) 学生の成長の成れ I, II, III 伊藤 雅子 84
2) 人間関係概論 I, II 柳原 光 89
3) 人間関係基礎論 I (哲学的基礎・問答型) 倉澤 俊三 95
4) 人間関係基礎論 II (心理学的基礎・問答型) グラビア俊子 100
5) 人間関係基礎論 III (社会的基礎・問答型) 山口 真人 106
6) 人間関係研究法(その1) 見野 秋生 114
7) 人間関係研究法(その2) 見野 秋生 117
—フィールドワーク—
2) 学生の学びとその軌跡
1) 在学2年間に卒業後5年間の個人の成長記録から 倉澤 俊三 162
2) 卒業生の追跡調査から 津村 俊光 179
3. 人間関係科に新しくかかわる教員として
1) 教師と学生のかかわりをめぐって 木村 晴子 205
—心理臨床分野の教員として—
2) 「体験学習」を習得する—
—知識の獲得を求めて— 中野 清 208
III JICEラボラトリートレーニングの変遷(その2) 中庭仁四郎 217
専属報告 (1984年)
I 研究会
1. 「もう一つの主婦層—商店のおかみさんたち」 天野 正子(上野大学) 269
2. 人間関係科における体験学習—
—教員の十二年前— グラビア俊子(南山短大) 271
3. 体験学習と理論学習をめぐって—
—絆を結び— 中野 清(南山短大) 273
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 277
2. 人間関係専門研修講座 279
3. 人間関係特定研修講座 281
4. コンサルテーション 283
5. 社会人研修参加者統計 285
6. 1985年度社会人研修予定 286
III 南山短期大学人間関係研究センター規程 288

目次

特別研究会 人間関係と自己表現 竹内 敏晴 2
特集 「自己表現」
I 自己表現ワークショップからの報告
自己表現ワークショップの概要 山口 真人 33
ワークショップ「私の仮面作り」 木村 晴子 38
「自由を踏ろう、感ずるままに！」 会沢 俊三 46
「クリエイティブ・ペインティング」 山口 真人 53
「オイリュート」 グラビア 俊子 80
「情熱とスペイン舞踏—感情と表現—」 まどか 麗代 71
「絵本づくり—誕生—」 文珠紀子野 88
II 自己表現をめぐっての考察
1. チームづくりと自己表現 早野 秋生 93
2. 神秘体験にみる自己表現 大森 正樹 98
3. 現代文化と自己表現 植田大二郎 102
ミニレクチャー
体験学習 見野 秋生 109
プロセスとは何か 津村 俊光 116
コミュニケーション・プロセス 山口 真人 120
邦訳ミニレクチャー
センチティビタ・トレーニングとは何か Charles Seashore (津村俊光訳) 125
グループ: その誕生から死までのサイクル Richard C. Weber (津村俊光訳) 130
レポート
人間関係研究センター社会人研修
「人間関係基礎研修の理論と実践」 津村 俊光 137
実践研究から報告
「私の人間関係体験学習の中で」 高平百合子 150
専属報告 (1985, 1986年度)
I 研究会
1. 「今日からみた人間関係科創設の概観」 津田 肇雄 153
2. 「スペインにおける生命倫理研究の現状」 まどか 麗代 155
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 158
2. 人間関係専門研修講座 159
3. 人間関係特定研修講座 162
4. コンサルテーション 164
5. 社会人研修参加者統計 166
6. 1987年度人間関係研究センター卒業予定 167
南山短期大学人間関係研究センター規定 169

目次

巻頭言 見野 秋生
特別研究会: 「学習者を中心にすえた教育のあり方めぐって」 河津 雄介 2
特集 グループの中に生きる
1. 器を生かす集団・集団を生かす器 見野 秋生 45
2. キリスト教における個と集団 市瀬 英昭 50
3. 現代科学における個と集団の問題をめぐって—
—原子論からバイオホロニクスの発想まで— まどか 麗代 55
4. 人間関係科の教育における個と集団—
—関係に定位した教育の実現をめざして— 山口 真人 69
—「個」と「集団」 横山 彰 77
—合流教育実践からの考察—
5. チームづくりのトレーニングと組織開発 見野 秋生 91
山元由美子
塔橋 京子
6. 企業内研修におけるグループトレーニング 松本 寛之 121
田辺 昂
7. 南山短大における集団不遇感—
—学生相談室開設に向けての報告— 木村 晴子 130
ミニレクチャー
援助すること— 竹内 敏晴 139
態度価値と責任性存在 大森 正樹 144
対人感受性の開発—
—人間関係トレーニングの原理と実践— 山口 真人 149
レポート
NTLにおける最近のラボラトリートレーニング 津村 俊光 157
専属報告 (1987年度)
I. 研究会 171
II. 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 175
2. 人間関係専門研修講座 178
3. 人間関係特定研修講座 180
4. コンサルテーション 183
5. 社会人研修参加者統計 185
6. 1988年度人間関係研究センター卒業予定 186
南山短期大学人間関係研究センター規定 190

人間関係 第6号 1988

目次

巻頭言 伊藤 雅子

特別研究会：「自己との対話 十年の因」 御田 聖山… 1
 「水月の後意村中墨のこと」 上原 輝男… 36

特集／対話

1. 対話的生 宮本 睦… 49
2. からだの対話 竹内 敏晴… 57
3. Cross Cultural "Dialogue" in the Age of Commodity Culture R. A. メリット… 72
4. 典礼—神と人との対話 市瀬 英昭… 89
5. 神との対話としての祈りとアイコン 大森 正樹… 93
6. 聴くということ 木村 晴子… 97
7. 専門化社会とおせかい 徳田大二郎…103
 —教師と生徒の対話についての一考察—
8. 科学者と宗教人との対話 まどか暲代…115

投稿：〔翻訳〕人間学 O. マルカド（中野 清沢）…127

レポート：教師のためのセミナー 山口 真人…147

ミニレクチャー：
 アクション・リサーチ 星野 欣生…155
 人間関係の変革 山口 真人…160
 —社会的感受性と人間関係のスキル—

事業報告（1988年度）

1. 人間関係基礎研修講座168
2. 人間関係専門研修講座171
3. 人間関係特定研修講座177
4. コンサルテーション180
5. 社会人研修参加者統計182
6. 1989年度人間関係研究センター事業予定183

南山短期大学人間関係研究センター規定187

人間関係 第7号 1989

目次

巻頭言 津村 俊夫

特別研究会：「体験学習とキリスト教教育」 坂口 順治… 1
 特集／Tグループ再考

1. Tグループの倫理 中堀仁四郎… 35
2. Tグループと霊性教育 まどか暲代… 49
3. Tグループに関する2つの考察 木村 晴子… 60
4. ラボラトリー教育におけるプログラミングについての考察 津村 俊夫… 67
 —Tグループを中心にした教育実践に向けて—
5. トレーナーになること 星野 欣生… 79
6. 対話的教養—M. ブーバーの教育論をめぐって 宮本 睦… 89
7. 学生にとつてのTグループの意味 文塚紀久野… 99
8. Tグループに思う
 (1) 選い気づき R. A. メリット…136
 (2) Tグループトレーニングの場に臨むとき 倉澤 俊三…138
 (3) Tグループで思うこと 大森 正樹…141
 (4) Tグループトレーニングの経験と家族 伊藤 雅子…143
 (5) Tグループ実践への提案 津村 俊夫…146
 —私のTグループ体験から—
 (6) wendepunkt—私のTグループ グラバア俊子…150
 (7) Tグループ随感 竹内 敏晴…153

レポート：Tグループの実験 浜本孝子・河原紀久子…155
 南山短期大学人間関係科でのTグループ合宿の動向 星野 欣生…173

ミニレクチャー：
 Tグループ 山口 真人…179
 TグループQ&A 星野 欣生…189
 人間関係とフィードバック 津村 俊夫…199
 効果的なコミュニケーションのための5つの要素 中堀仁四郎…203

事業報告（1989年度）

1. 社会人研修概要209
2. 人間関係基礎研修講座210
3. 人間関係専門研修講座213
4. 人間関係特定研修講座215
5. コンサルテーション217
6. 社会人研修参加者統計219
7. 1990年度人間関係研究センター事業予定220

南山短期大学人間関係研究センター規定225

人間関係 第8号 1990

目次

巻頭言 星野 欣生

特別研究会：「日本に於ける生涯学習の動向」 那須野峰一… 1
 特集／生涯学習の実践 一歩びつてあな—

1. 生涯学習と体験学習 星野 欣生… 41
2. いま生涯学習に期待されるもの 伊藤 雅子… 55
 —生涯学習と体験学習的人間関係教育—
3. 第二の大航海時代の生涯学習 グラバア 俊子… 81
4. 生涯の大事 竹内 敏晴… 94
5. 生涯教育方向性 リチャード・A・メリット…100
6. 「生涯学習」維新 河津 紹介…103
7. 人間関係基礎研修の理論と実際 津村 俊夫…106
8. ボランティア活動と生涯学習 青木明子・山口真人…119
 —いのちの電話活動におけるボランティア相談員の成長—
9. セルフ・サイエンス 津村 俊夫…130
 —自己認識を深めるためのトレーニング—
10. ドストエフスキーを読む 大森 正樹…139
 —大人の読書会をやつて—
11. 想起—礼拝における学び 市瀬 英昭…142
12. 体験を通して「からだところ」の健康づくり 石田 幸夫…146
13. 「体験学習」と自己理解 寺西佐穂代…150
 —学生から教師という立場になつて思ったこと—
14. 私の教育メモ 吉川 房枝…154

ミニレクチャー：
 体験学習と学習ジャーナル 自己理解を深めるために 津村 俊夫…159
 介入ということ 一横道化された実習において 星野 欣生…167
 ふりかえりについて 一体験学習において 星野 欣生…173

事業報告（1990年度）

1. 社会人研修概要177
2. 人間関係基礎研修講座（一般研修）178
3. 人間関係専門研修講座（継続研修）181
4. 人間関係特定研修講座183
5. コンサルテーション185
6. 社会人研修参加者統計187
7. 1991年度人間関係研究センター事業予定188

南山短期大学人間関係研究センター規程193
 あとがき 一生涯学習制度変化の望み まどか暲代…194

人間関係 第9号 1991

目次

巻頭言 中堀 仁四郎

特集／からだ

1. 開談：祈るからだ (竹内敏晴・大森正樹・中野清) … 1
2. 「奇蹟物語」にみる「からだ」の変容 (市瀬英昭) … 36
3. 「表現するからだ」走り書き (竹内敏晴) … 46
4. 自己理解の手がかりとしての「からだへの気づき」 (寺西佐穂代) … 53

特別研究会：「内側からみる」 (佐伯 睦) … 61

研究ノート：
 授業記録：人間関係原論（1989—90年度）
 ～学生とともに人間関係の原点をさぐる～
 (竹内敏晴・山口真人・グラバア俊子・中野清) …107

教育に目的があつて、情熱を抱いてはいけないのか
 グランド・ストーリーなきあとの教育 (徳田大二郎) …147

ファジィとラボラトリー（体験学習） (星野欣生) …166

ミニレクチャー：
 成長するための「幹」—人間教育のひとつの意味— (木村晴子) …175
 コミュニケーションのプロセスとその障害要因 (津村俊夫) …181
 非言語コミュニケーション—からだの語ることば— (グラバア俊子) …188

事業報告（1991年度）

事業概要193

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座（一般研修）194
2. 人間関係専門研修講座（継続研修）197
3. 人間関係特定研修講座198
4. 社会人研修参加者統計199

コンサルテーション200
 1992年度人間関係研究センター事業予定202

南山短期大学人間関係研究センター規程209

目次

巻頭言 木村 明子
特集/人間教育の核心-学ぶこと・変わること
1. 林竹二先生について (竹内敏晴・屋野欣生・米沢穂晶) ... 1
2. Tグループにおける集団と個の変化
-参加者の気づきと学びを中心にして- (津村俊光) ... 39
3. 性格は「変わる」?
-「ゆらぎ」構造に目を向けて- (大森正樹) ... 89
4. 傍観者から共感者へ (伊藤雅子) ... 95
特別研究会:「人間科学の方法論」 (村上隆一郎) ... 103
ミニレクチャー:
人間関係トレーニングにおける人間成長への変容モデル (津村俊光) ... 139
より効果的なコーチングに向けて Milstein, M.M. ... (津村俊光訳) ... 148
事業報告 (1992年度)
事業概要 153
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 154
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) 156
3. 人間関係特定研修講座 159
4. 社会人研修参加者統計 160
コンサルテーション 161
1993年度人間関係研究センター事業予定 163
南山短期大学人間関係研究センター課程 172

目次

巻頭言 中野 晶
In memoriam 藤原光先生 R.N. ...
特集/自己実現
1. 「女性として生きる不安」を越えて
-女性の自己実現のための課題をめぐって- (伊藤雅子) ... 1
2. ひとり立つこと
-表現と自己実現- (竹内敏晴) ... 15
3. 大学の自己点検・評価と組織の活性化
-組織の自己実現に向けて- (屋野欣生) ... 25
4. 自己実現の目指すもう (大森正樹) ... 34
特別研究会「内面世界に自己意識」 (佐田 敏) ... 39
レポート 神経科クリニックでの体験学習の試み
-母親のためのコミュニケーション講座- (吉西佐賀代・中嶋仁四郎) ... 83
ミニレクチャー
「白開 見に細かす」ってほんとう? (津村俊光) ... 97
事業報告 (1993年度)
事業概要 103
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 104
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) 107
3. 人間関係特定研修講座 110
4. 社会人研修参加者統計 111
コンサルテーション 112
1994年度人間関係研究センター事業予定 114
南山短期大学人間関係研究センター課程 122

目次

巻頭言 竹内 敏晴
特集/愛
1. 家族と愛
-結婚の社会学の考察をめぐって- (伊藤雅子) ... 1
2. 恋愛と人格
-その西欧的かたち- (大森正樹) ... 10
3. 愛の視座
-マザー・テレサとシスターたち- (竹内敏晴) ... 18
研究ノート:体験学習を用いたグループと個人の成長のための教育実践
-『人間関係プロセス論』の授業報告-
..... (伊藤雅子・津村俊光・大塚弥生・中村和彦) ... 37
特別研究会:「大学教育のあり方」
-「何を」教えるかではなく「どのように」 (土田友章) ... 159
ミニレクチャー・訳注:
1. コントロールからファシリテートへ
-組織の中でいかにL. E. A. D.(リード)するか- (屋野欣生) ... 191
2. 人間としてのトレーナー
-ベストな介入行動を開発するための重要な視点について- (津村俊光) ... 203
事業報告 (1994年度)
事業概要 211
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 212
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) 213
3. 人間関係特定研修講座 214
4. 社会人研修参加者統計 216
コンサルテーション 217
1995年度人間関係研究センター事業予定 219
南山短期大学人間関係研究センター課程 228

目次

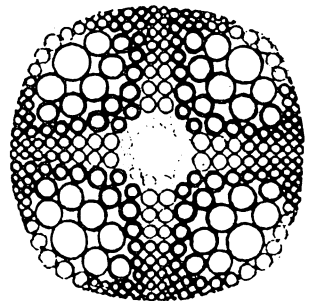
巻頭言 大森 正樹
レポート
1. 現代青年の老人理解へ教育的冒険
-平成7年度授業、人間関係各論「人間と発達」の自己点検と評価をかねて-
..... (利合優年・津村俊光) ... 1
2. Memory of Gravity (川浦佐知子) ... 19
特集/いのち
1. いのちにたどり着くまで
-からだの感覚が導いた所- (グラビア俊子) ... 25
2. 生命(いのち)の実感と似而非ニヒューマニズム (大森正樹) ... 35
3. いのちのとき (伊藤雅子) ... 41
4. 生命力と創造力
-メタ認知タロの「アダムの創造」を通して- (伊東留美) ... 50
5. 「マチュアンの善人について」語る
-95年度「表現による自己成長」の授業にて- (竹内敏晴) ... 81
6. 父 業秀居士にみる和学
-INTERVIEW 国難・社会・変革 親のいのちを与えて- (まどか世代) ... 89
特別研究会:「医療と人間関係」 (小川来造) ... 95
研究ノート:Tグループを用いた人間関係トレーニングの教育実践
..... (山口真人・津村俊光・屋野欣生・中野晶・中村和彦・森崎直実) ... 127
ミニレクチャー
ハバリー・ガクサ
プロセスングのための問いかけ
-体験学習の過程を完成させるための助けとして- (津村俊光訳) ... 207
事業報告 (1995年度)
事業概要 219
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 220
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) 221
3. 人間関係特定研修講座 223
4. 社会人研修参加者統計 224
コンサルテーション 225
1996年度人間関係研究センター事業予定 227
南山短期大学人間関係研究センター課程 238

目次

巻頭言	橋本和彦
レポート: 各論「ボディ・ワーク」を受けて	(赤堀八千代・野田穂子・金森久代・伊東信美) … 1
特集「人間関係原論」	
(はじめに)	(大森正樹) … 29
1. 新しい学習形態過程への試論: 「人間関係の原論」	(まどか穂田麗代) … 31
2. 体験学習方式による人間関係原論の意義と今後の課題	(中村和彦) … 36
3. 「人間関係原論」のキリスト教的背景	(市瀬英昭) … 42
4. 「置がりというテーマをあたえられて」	(中尾仁四郎) … 51
5. 心理臨床の分野から人間関係原論に関わって	- つながりの心理学から - (木村晴子) … 56
6. 「学び、かわる、成長する」	(黒野敦生) … 60
7. 授業記録 1990~1991年度	(黒野敦生) … 66
8. 授業記録 1993~1994年度	(伊藤穂子) … 85
9. 授業記録 1991~1992年度	(まどか穂田麗代) … 110
10. 授業記録 1994~1995年度	(黒野敦生) … 123
11. 考察と今後の課題	(大森正樹) … 148
特別研究会: 「宗教と人間存在」	(上田閑蔵) … 151
研究ノート: 体験学習を用いたコミュニケーション能力の開発と個人の成長のための教育実践	- 「人間関係プロセス論B・D」の授業展開とその考察 - (黒野敦生・大塚弥生・寺西佐穂代・中村和彦) … 179
事業報告 (1996年度)	
事業概要	… 243
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 244
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 245
3. 社会人研修参加者統計	… 247
コンサルテーション	… 248
1997年度人間関係研究センター事業予定	… 250
南山短期大学人間関係研究センター履修	… 261

目次

巻頭言	グラビア 櫻子
特集「大学における人間性教育の試み」	
人間性教育を支える学習共同体の育成	- 人間関係科の教育理念と共同体づくりの柱について - (山田真人・伊藤穂子) … 1
人間性教育と心理臨床的アプローチとの統合への試み	- イメージを中心とした「自己分析」の授業報告 - (橋本和彦) … 26
非構造的なグループ・アプローチの歴史的・理論的意義に関する検討	(中村和彦) … 72
人間関係科における授業「人間論」の可能性	(大森正樹) … 99
自文化における生命論的パラダイムシフト(覚書き)	体験学習法による生命と倫理
- 「いのち」と「ことば」というカリキュラムの文脈 - (まどか穂田麗代) … 108	
特別研究会:	
「全てのいのちを育む地球社会を模索して」	(平山 直) … 119
ミニレクチャー:	
スクールカウンセリングと人間関係トレーニング	- カウンセリングと人間性教育の視点を中心に - (橋本和彦) … 165
題 訳: 学習と問題解決	Learning and Problem Solving (津村謙光) … 173
レポート: Memories in Vein	- A Reflection on a 10-day Residential Training in Applied Deep Ecology - (Sachiko Kawaura) … 195
事業報告 (1997年度)	
事業概要	… 207
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 208
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 208
3. 社会人研修参加者統計	… 211
コンサルテーション	… 212
1998年度人間関係研究センター事業予定	… 214
南山短期大学人間関係研究センター履修	… 226



編集者 大森正樹
まどか A. 庸代

人間関係 第16号
1999年3月20日 発行

編集発行者 〒466-0833 名古屋市昭和区隼人町19番地
電話 (052) 832-6214・6211
FAX (052) 832-6210
南山短期大学人間関係研究センター
代表者 グラバア 俊子

印刷所 (株)尾頭橋印刷所
名古屋市中川区南脇町3丁目20番地
電話 (052) 351-6231番(代表)